

技術革新の目標は、人々が幸せを実感できる包摂的な社会の実現にあり、特定の国を超えた地球（グローブ）レベルのウェルビーイングを目指す。一方で、実際の人々の生活は、その地域の歴史、文化、政治等の諸制度、さらには地理的状况によって違いがある。日本はアジアで最初に産業化を達成し、経済発展した国であると同時に、いま地球上で最も高齢化した社会である。技術は国を超えると同時に、新たな市場としてのグローバルサウスの多くは若い人口構成にある。そこで、本研究は、地域とそこに生活する人々の多様性を考慮したウェルビーイングの検討、国連等での国際的な議論への参画、日本モデルの汎用性の検討、という3つの柱で複合研究と若手人材の育成を進めていく。

包摂的未來社会の構築にむけた社会科学的実証研究

